

授業の視点	場面絵の視覚支援を通して、登場人物の心情の変化に気付き、想像しながら読み取りが深まる授業
-------	--

1 単元名 新美南吉の作品を紹介するリーフレットを作ろう

教材名「ごんぎつね」(光村図書4年下)

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「新美南吉の作品を紹介するリーフレットを作る」ことを位置付けた。リーフレット作りの中で、「人物紹介、中心人物の変容、中心人物と対人物との心の距離をグラフで表す、ごん日記」を書く活動を行う。本単元でねらう「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」(C読むことの指導事項ウ)、及び「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」(C読むことの指導事項オ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

3 単元について

(1) 児童観

(男子5名 女子5名 計10名 一学期物語文教材「一つの花」にて)

項目	十分達成	努力を要する
① 叙述に即して場面の様子を読み取ることができる。	6名	4名
② 叙述に即して人物の気持ちを読み取ることができる。	8名	2名
③ 人物の気持ちの変化を行動や会話などから想像し、読み取ることができる。	5名	5名

7月に学習した物語文教材の「一つの花」では、登場人物の気持ちを叙述に基づきながら考え心に残ったことを表現するために、場面の移り変わりをおさえ情景描写から心情の変化を読み取る力の育成をねらいとした。戦争という時代背景から想像しにくい部分はあったが、児童は、教科書の物語文には興味をもって学習し、進んで読書もしている。一方で、登場人物の性格や、状況を把握して、物語の内容をつかむ力が弱い面が見られ、物語の情景から、中心人物の気持ちの変化を想像できにくい児童もいる。

(2) 教材観

本単元は学習指導要領の第3学年及び第4学年の「C読むこと」の指導事項ウ「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」、及びオ「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」と関連している。

本教材「ごんぎつね」は、新美南吉の代表作として多くの人に親しまれてきた作品である。ひとりぼっちの小ぎつねのごんが、同じ境遇の兵十と心を通わせようとしながらも、通わせきれない切なさを描いた作品である。主人公の言動と優れた情景描写、細やかで素朴な語り口の心理描写によって、児童でも物語の世界や心情をつかみやすく、ごんのひたむきさや思いの深さ、ごんを撃ってしまった兵十の驚きややりきれなさを想像せずにはいられない。叙述を基に想像したり、自分の経験と重ね合わせたりしながら読み進めていくことに適した教材といえる。

(3) 指導観・研究主題に迫るための工夫

新美南吉の作品を紹介するリーフレットでは、行動や会話、心情描写等、根拠となる叙述を基に、登場人物の性格や気持ちを想像させて書かせる学習活動を取り入れる。

中心人物の行動や物語の情景などの叙述や心情曲線を手がかりに、性格や心情の変化について考えさせる。人物紹介を書く活動を仕組むことによって、物語全体から読み取ることができるようにする。

4 単元の目標

- (1) 物語に興味をもち、人物の気持ちの変化をとらえようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる。(読むこと)
- (3) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・新美南吉の作品を、感じたことや考えたことを明らかにしながら読み、紹介しようとしている。	・自分が選んだ本の心に残る場面や中心人物を紹介するために、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の変化について、行動や心内語、情景描写などの叙述を基に想像して読んでいる。	・心情を表す情景描写には、考えたことや思ったことを言葉で表現する働きがあることに気付いている。

6 学習計画及び評価規準 (9時間扱い) ○が本時

次	時	主な学習活動	主な評価規準	
一	1	教師の示した「手ぶくろを買いに」のリーフレットにより、単元の学習を通して行う言語活動についての見通しをもつ。	・学習のゴールを理解し、見通しをもって学ぼうとしている。 (関心・意欲・態度)	
	2	・心に残ったこと、疑問に思ったことを中心に、初発の感想をまとめ交流する。	・物語に興味をもち、中心となる人物に気を付けて読もうとしている。 (関心・意欲・態度)	
	3	・並行読書の方法や、新美南吉の作品を読むことを知る。	・新美南吉作品に興味をもち、積極的に読もうとしている。 (関心・意欲・態度)	
二	4	・登場人物を確認し、ごんと兵十の境遇性格を読み取り、リーフレットに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">・登場人物の紹介</div>	並 行 読 書	・登場人物の境遇を情景描写や叙述から読み取っている。 (読む能力)
	5	・ごんと兵十の距離が分かる叙述から、中心人物の気持ちの変化を読み取ってリーフレットに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">・気持ちの変化(叙述から)</div>		・場面の移り変わりに気をつけて、気持ちの変化の分かる叙述(情景・色彩語)に着目しながら、中心人物の気持ちを読み取っている。 ・心情曲線を基に、ごんの気持ちを想像している。 (読む能力)
	⑥	・ごんの行動の理由を考えることによって、兵十への気持ちが変わったところを読み取り、リーフレットに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">・気持ちの変化(行動・理由)</div>		・場面と場面を関連付けて、気持ちの変化のわかる叙述(行動・情景)に着目しながら、中心人物の気持ちを読み取っている。 ・心情曲線を基に、中心人物の気持ちの変化を読み取っている。 (読む能力)
	7	・「ぐったりと目をつぶったまま、うなずいたごん」の気持ちを想像し、日記の形にしてリーフレットに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">・ごん日記</div>		・視点が変わったことに気づき、ごんと兵十の気持ちの変化を読み取っている。 ・心情曲線を基に、中心人物の気持ちの変化を想像している。 (読む能力)
三	8	・並行読書をしてきた本の中から、書きたいことを選んで、「新美南吉作品リーフレット」を書く。	・登場人物の気持ちの変化やそのきっかけを、行動や情景から読み取っている。 (読む能力)	
	9	・リーフレットを通して、本の紹介を行い、学習の成果を確かめ合う。		

7 本時の指導

(1) 目標

リーフレットづくりを通して，登場人物の行動や心情描写，情景描写など叙述を基に，中心人物の気持ちを想像することができる。

(2) 本校教育目標との関連

情景描写などを関連付けながら登場人物の心情の変化を考える活動を通して，本校教育目標（重点目標）の「自ら学び行動する子供」の育成を図りたい。

(3) 準備・資料

場面絵，ワークシート，リーフレット，自己評価カード

8 展開

○研究主題との関連

学習活動・内容	指導と援助の留意点と評価（評）
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ごんの行動の理由を考え，「気持ちの変化（行動・理由）」を書こう。</p> </div> <p>3 ごんの行動の理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごんの気持ちがわかる言葉に気を付けて，ごんの行動の理由を考えよう。 <p>(1) 事前に教科書に線をひいていた，それぞれの疑問を確認し，ノートに理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ，ごんはつぐないを続けたのだろうか。 ・なぜごんはお念仏がすむまで待っていたのだろうか。 ・なぜごんは「引き合わないなあ」と思いながらも，兵十のうちへ行ったのか。 <p>(2) 同じ疑問を持っているグループが集まり，自分の書いた考えを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで話し合い，まとめる。 <p>(3) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごんの兵十に対する気持ちは，どのように変化しただろう。 <p>4 本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ交流でまとめたことや全体交流で話し合ったことをもとに，リーフレットに「はじめは～，だんだん～」という形でごんの人物像と変容をまとめる。 <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 自分の読んでいる本の中心人物の気持ちが変わったきっかけとなる出来事を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時資料をもとに，ごんの行動と兵十との気持ちの距離を振り返り，本時の学習へとつなげていく。 ・課題を確認した後，本時の学習の流れを確認することで見通しをもって取り組むことができるようにする。 <p>○初発の感想から出た疑問を提示し，事前に児童が決めておいた疑問の答えを考えられるよう伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごんの兵十に寄せる思いが深くなっていくことが想像できる課題を選んでおく。 ・心情曲線や前時までの学習に注目させ，中心人物の気持ちを想像しながら，理由を考えることができるようにする。 <p>○グループ交流を通して，「なぜごんは～したか。」の理由を，ごんの気持ちの変化がわかる行動描写からまとめられるよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの意見を発表し合うことにより，それぞれの行動から，ごんの兵十に対する思いが強まっていくことに気付かせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>（評）読むこと（観察・リーフレット）</p> <p>中心人物の気持ちの変化に気づき，リーフレットに考えをまとめている。</p> <p><十分満足できるという状況></p> <p>友達の考えを聞き，自分の考えと比べることで，考えを広げたり，深めたりしている。</p> <p><努力を要する児童への手立て></p> <p>登場人物の気持ちの変化がわかる叙述に着目できるよう助言する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の振り返りでは，自分の言葉でノートに書くことができるよう配慮する。 ・新美南吉作品を読んで，中心人物の気持ちが変わったきっかけとなる出来事を見つけることができるようにする。

新美南吉作品リーフレットを書こう

ごんぎつね

新美南吉

名前

◎ごんの兵十に対する気持ち

「ちよつ、あんないたずらをしなけりやよかった。」



A large rectangular area with a solid black border, containing ten vertical dashed lines for writing. This area is intended for students to write their responses to the prompt about Gon's feelings.

「

ひとりぼっちだから



板書計画

授業者	藤原 晴佳	学年・組	4年1組	教科	国語
単元名 授業のねらい	「ごんぎつね」 ・中心人物の行動の理由を考え、リーフレットにまとめることができる。				
一手間・一工夫 一配慮	・グループ活動や一斉など、様々な形態を取り入れて、自分の考えを発表しやすくする。				
※ユニバーサル デザイン	・場面絵を入れることで、想像しやすくする。				

㊦
㊧

ごんの人物しょうかいを通して、感じたことを振り返りましよう。

この人の気持ちの変化について、リーフレットにまとめよう。

ごんの行動の理由を考え、「ごんの気持ちの変化」を書こう。

場面絵

この兵十に対する気持ち

「あ、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

兵十のため

「おれごん」ひとりぼっちだから

↑

神様じゃなく、ぼくだ。

↑

「元気なう。ぼくがなげまうさぞ。

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

↑

「おれごん」ひとりぼっち

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

場面絵

ごんがかわいそう

「あ、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

場面絵

後悔・反省

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」

↑

「ごん、あんなにたすらをしなけりやまかった。」